



あなたもこれで  
投資初心者大目玉

投資初心者必読!  
パソコンで多量取引  
申告マニュアル

株投資の税金  
丸分かりガイド

個人投資家のベストパートナー!

# 優待株 & 配当株

ユージュアリティ しっかり

税制も  
税金も  
わかり

【 他にも高利回り株30の紹介 】

銘柄	11.0%	銘柄	1.0%	銘柄	1.0%
銘柄	1.0%	銘柄	1.0%	銘柄	1.0%
銘柄	1.0%	銘柄	1.0%	銘柄	1.0%



## 決算書の向こう側

～企業業績をより深く知るためのポイント～

決算書は企業の財務状況を把握するための重要なツールです。しかし、数字の羅列だけでは企業の真実を捉えることができません。本記事では、決算書の向こう側に隠れている重要な情報を掘り起こすためのポイントをご紹介します。

まず、営業利益と経常利益の差に注目してください。営業利益は本業の収益力を示しますが、経常利益には営業外収益や営業外損失が含まれるため、企業の持続的な成長能力を測るのに適しています。

また、キャッシュフローは企業の資金繰り状況を把握するために不可欠です。営業活動によるキャッシュフローがプラスであることは、企業が自給自足の資金調達能力を持っていることを示しています。

さらに、負債比率やROA（総資産利益率）などの財務比率も重要な指標です。負債比率が高すぎると返済負担が大きくなり、ROAが低いと資産の運用効率が低い可能性があります。

最後に、決算書の注釈や補足説明を必ず読みましょう。ここには数字だけでは表現しきれない重要な情報が含まれていることが多いです。

税制も税金もわかり



西野 誠二  
税理士  
税務・経営相談  
税務・経営相談  
税務・経営相談

株主優待や配当株は、個人投資家にとって魅力的な投資手段です。しかし、そのメリットを最大限に活かすためには、税金の知識が不可欠です。本記事では、株主優待や配当株に関する税金の取り扱いについて詳しく解説します。

株主優待は、一般的に非課税とされています。ただし、優待品が現金や金券の場合は、雑所得として課税の対象となります。また、配当金は、原則として雑所得として課税されます。ただし、非課税枠（年間10万円）以内の場合は課税されません。

また、株主優待や配当株の受け取りには、証券口座の開設や口座振替の設定が必要です。受け取りの頻度も、毎月か年一回かで決まることがあります。

株主優待や配当株の受け取りには、証券口座の開設や口座振替の設定が必要です。受け取りの頻度も、毎月か年一回かで決まることがあります。



株主優待や配当株の受け取りには、証券口座の開設や口座振替の設定が必要です。受け取りの頻度も、毎月か年一回かで決まることがあります。

また、株主優待や配当株の受け取りには、証券口座の開設や口座振替の設定が必要です。受け取りの頻度も、毎月か年一回かで決まることがあります。

株主優待や配当株の受け取りには、証券口座の開設や口座振替の設定が必要です。受け取りの頻度も、毎月か年一回かで決まることがあります。